

令和5年12月22日(金)2学期終業式

今年は特に猛暑の中スタートした2学期でした。熱中症の心配もありましたが、皆さんの協力のもと、美高祭、体育祭を実施することができました。部活動、探究活動、産業教育フェア福井大会の運営など多くの場面で皆さんの活躍を目にすることができ、大変嬉しく思いました。本日ここに2学期の終業式を迎えるにあたり、2つのことを述べたいと思います。

1つ目 皆さんが2学期に身につけた力は何か、振り返ってください。

生徒の皆さんがこのような姿に育ってほしいという指標の1つに、グラデュエーションポリシーというものがあります。その一つに「多様な価値観を受け入れる寛容な心を培い、他者と積極的に連携・協働できる生徒」という項目があります。皆さん、2学期で一番頑張った場面を頭の中に思い浮かべてみてください。皆さんはそれぞれの場面で無意識のうちに他人に寛容に、仲間や関係者と連携して、協力をすることができていたのではないのでしょうか。いろいろな場面を経験することで皆さんには多くの力が身につけているのです。自分にはどんな力が身についたか。まだ足りないものは何か。2学期の終わりにあたり総括して分析する時間をとってほしいと思います。

2つめ 今を大切にしてください。

新聞やニュースで紛争のことが報道され続けています。ガザ地区では病院が

破壊されたり、幼い命が奪われたり、心が痛みます。そんな紛争地に派遣されていた日本の医療関係者の方のインタビューが印象に残っています。「戦闘下では明日するねが通用しない。」と述べておられました。今より後のことが保証されない過酷な状況となっているのです。私たちは少なくとも明日の安全が保証されており、「この課題やらなくては まあいいか明日すれば。」「感謝の気持ちを伝えたいけれど あとでいいや。」など何かと後回しにしてしまうことがありますよね。私たちにできることは、早く紛争が終結するように祈ること。そして今を大切にすることだと私は思います。

明日から少しの休みではありますが、次への活力を養い いい新年を迎えてください。